

2013年12月4日 同志社校友会大阪支部 クリスマス会 支部長挨拶

メリークリスマス！

本日は、校友会大阪支部の主催ですが、大阪に集います大阪同志社クラブを始め、タイトルハンガーに11の旗が上がっております様に、大阪で活躍の各会の皆様のご支援を頂いて300余名の校友の皆様にお集まり頂きました。大学からは、大谷総長、水谷理事長、村田学長を始め、各部門の責任者、女子大からも、そして校友会本部役員、同窓会、スポーツユニオンなどの諸団体の皆様にご出席頂き、盛大にクリスマスを祝うことが出来、感謝致します。元気でこうして集まり、交流を深められることに感謝し、嬉しく思います。

今年の流行語大賞に4つ選ばれました。

「今でしょう！」…前向きで積極的な言葉で良い。

「お・も・て・な・し」…日本の文化、人に対する心のあり方で良い。

「じぇじぇじぇ」…驚き、活性、サプライズ。いい方言です。

「倍返し」…これはいただけません。ドラマとしてはおもしろかったのですが、「仕返し」の倍返しではダメです。感謝する気持ち「恩返しの倍返し」でないと。どうでしょうか？

ヒット商品番付では

「アベノミクス」…ものの考え方、戦略、表現の表し方によって、世の中や気持ちを変える事が出来、今年は明るくなりました。「富士山」…良い。「ぶつからない車」…新しい発想。「式年遷宮」「楽天・田中」など、いいことづくめでした。

「今年の漢字」はまだ決まっていませんが、私は「富」などいいのではと思っています。富士山の「富」アベノミクス、日経株高など久々の「富」です。

ところで、NHK「八重の桜」は、同志社にとって今年一年間の大ヒット。12月1日の放送で「グッバイ、また会わん」新島襄の人に対する心を表していました。1890年1月23日のことです。1月27日に3000人も学生、教師などが雨の中、東山若王子山に長蛇の列を連ねて登りました。ちょうど123年前のことでした。校友会大阪支部はその時結成され、大阪の先輩の方々が列に加わりました。今年の流行語やヒットに大事な言葉として「良心」を入れてほしかったと思います。「自立・自由・良心」特に「良心」は同志社を表している言葉・精神だと思います。その時まかれた「種」がこうして35万人、大阪で7万5千人の校友となり「良心」その心を大切に、その精神を広め実践しています。同志社のブランドを高めていることがその証明です。世を良くしていくことが、私達の努めであり、それを広めていくことが責務です。

これからも、いろいろな所で、いろいろな場面で「良心」を生かし、実践し、「声を大きく」「良心」を伝え「考えの基本」にしていきましょう。そして交流を深めていきましょう。

同志社校友会大阪支部長 宮本 利亮